

事務局ニュース05-NO.010 2007.4.28 埼玉県学童保育連絡協議会

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-1005

048-644-1571 FAX 048-644-1572

http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

報告事項

1. 第5回代表委員会を開催

県担当課「学童保育先進県が後退することのないよう放課後子どもプランを進めていきたい」

4月21日、9市12人の出席で代表委員会がさいたま市内で開催されました。

前半、「県政出前講座」の一環として県子育て支援課の野口主幹よりレジュメ「埼玉県の少子化対策」にもとづいて、県の少子化関連施策の概要と学童保育施策への考え方をお話いただきました。特に、放課後子どもプランと関わって以下のような発言がありました。

放課後子どもプランについて、今年度中に教育局と子育て支援課で放課後児童クラブと放課後子ども教室とのすみ分けについて県としての方針、放課後児童対策の全体像を詰めていく予定。

子育て支援課としては、学童先進県としてやってきたことは続けていきたい。後退することのないように「放課後子どもプラン」を進めていきたい。

国の大規模クラブの解消の方針について、実際には解消は大変だが、県として一定の方向性を出さないと定員でカットする市町村も出て待機児童が1,000人単位で出てしまう。そうならないようにどうしていくか計画的に進めていきたい。

後半は、総会議案書を提案し、ご議論をいただきました。

(代表委員会に欠席された地域・学童保育に資料を添付しました)

2. 県内の放課後子ども教室は22市169カ所

4月14日付け埼玉新聞によると、2007年度の「放課後子ども教室推進事業」は、さいたま市、川越市を除いて21市町156カ所、全小学校区の22.5%とのことです。さいたま市が13カ所実施予定ですから、計22市町169カ所となります。

同紙によると「13日の定例会見で県教育長は『全小学校区で実施したい』と前向きだが、人材確保や空き教室がないなどの課題も浮上している」と報道しています。実施しない市町村の声として「有料で運営している学童保育と、無料の子ども教室との関係をどうするのか問題が解決していない」「国は机上で物事を考えている」等を紹介しています。

お知らせ・お願い

1. 第35回県連協総会に向けて

5月26日(土)17:30開場(時間厳守) 於埼玉教育会館(駐車場は県庁の駐車場)

すべての学童保育からご出席を

市町村長にご案内を届けて祝電をいただいでください(依頼文は送付済み)

地域連協のあるところは、運営委員の選出の討議を

2. 毎年の学童保育実態調査にご協力下さい 〆切は5月21日です(添付)

3. 全国指導員学校北関東会場には車で乗り合わせてお越し下さい!

6月10日(日)茨城大学(茨城県水戸市)で開催予定

*場所が遠いのですが、茨城県連協として初めて全国レベル(北関東ですが...)の催しを準備することになり、埼玉県連協としても積極的に支援したいと考えております。

電車だと以下のように時間と料金がかかるため、地域で自動車を乗り合わせてご参加下さい。地域によってはバスをチャーターするような工夫をとってください。

4. 全国連協新刊『よくわかる放課後子どもプラン』をご活用下さい!

*税込1,700円のところを1割引でお分けします

今年度から始まる「放課後子どもプラン」のすべてがわかる1冊です。

学童保育に1冊以上+役員と指導員は必携+行政担当者や議会等へ積極的に普及して下さい。

送付先に1冊に付き、1割(170円)を還元します。ふるってご活用下さい。

裏面の用紙にてFAX、ないしEメール(gakudoust@yahoo.co.jp)にてご注文下さい。

5. 新入所児童の世帯に『日本の学童ほいく』誌を勧めて下さい!

*4月号の見本誌が県連協事務局にあります。ご希望の際は、ご連絡下さい。

*また、『ほいく』誌のモニター登録をすべての学童保育にお願いしてください。特に、新入所児童の保護者にもお願いしてみてください。

6. 『日本の学童ほいく』誌のモニター登録をすべての地域・学童保育から

『日本の学童ほいく』誌に定期的に感想・意見を届けていただくモニターを募集しています。

最低、各地域・学童保育から1名(保護者でも指導員でもOKです)はお願いします。特に新入児童の家庭にお願いしてください。5月21日までにFAX等にてお知らせ下さい。

裏面の用紙にてFAX、ないしEメール(gakudoust@yahoo.co.jp)にてご回答ください。

7. 地域連協・学童保育の総会後に

連協(連協のない地域は各学童保育)、指導員会、指導員労組等のそれぞれの2007年度の総会議案書の類を2部をお送り下さい。

新年度の地域連絡協議会の役員、郵便物の発送先等を教えて下さい。

裏面の用紙にてFAX、ないしEメール(gakudoust@yahoo.co.jp)にてご回答ください。

県連協・全国連協 当面の予定

- 5月26日(土) 第35回県学童保育連絡協議会総会(於埼玉教育会館)
- 5月27日(日) 第35回県学童保育研究集会(於埼玉県立大学)
- 6月10日(日) 第32回全国学童保育指導員学校・北関東会場(於茨城大学)
- 6月27日(水) 第21回県学童保育指導員基礎講座(於さいたま市産業文化センター)
- 9月8(土)~9日(日) 第23回県合宿研究会(於嵐山・国立女性教育会館)
- 11月10日(土)~11日(日) 第42回全国学童保育研究集会 in 東京

F A X 送信書048(644)1572 Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

上記4 『よくわかる放課後子どもプラン』注文票

A 4版160ページ 定価1,700円(税込)の1割引の1,530円でお分けします(送料別)
 編集 全国学童保育連絡協議会 発行 (株)ぎょうせい A 5判160ページ

< 目次 >

- 第1章 「放課後子どもプラン」とは
- 第2章 文部科学省の「放課後子ども教室」とは
- 第3章 学童保育を推進する厚生労働省の方針
- 第4章 学童保育の現状と課題
- 第5章 学童保育の拡充と地域の子育て支援の課題
- 寄稿 地域の子育てと「放課後子どもプラン」
 - 「机上のプラン」から「発達保障プラン」に -
 増山 均(早稲田大学文学学術院教授)
- 資料編 放課後子どもプラン推進事業の実施要綱等(18資料掲載)

[] 冊注文	お名前
送り先 〒	
お電話	F A X E-mail

F A X 送信書048(644)1572 Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

上記6【再度】『日本の学童はいく』誌のモニターになります

保護者と指導員1名ずつは是非、最低、各地域・学童保育から1名をお願いします(人数制限はありません)。特に、新しい保護者の方にお薦め下さい。

- *通信は、1号につき300円相当の謝礼(図書券等)を送ります。(3~4ヶ月ほどまとめて)。「読者のひろば」に掲載したときは、別途、500円の図書券を送ります。
- *期間は、登録を受けた日から、2008年3月号まで。

市町村名 _____ 学童保育名 _____
 お名前 _____ をつけて下さい 保護者 指導員 他()
 連絡先 指導員の場合は学童保育の、保護者の場合は自宅の連絡先をお書き下さい
 _____ FAX _____ E-MAIL _____
 〒 _____

F A X 送信書048(644)1572 Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

上記7 - 協議会の代表者、郵便物の発送先

地域連絡協議会会長名 _____
 住所 〒 _____
 電話 _____ F A X _____ Eメール _____
 地域連絡協議会事務局長名 _____
 住所 〒 _____
 電話 _____ F A X _____ Eメール _____
 指導員(会)代表名 _____
 勤務学童保育住所 〒 _____
 電話 _____ F A X _____ Eメール _____
 県連協沿線会議出席者名 _____
 住所 〒 _____
 電話 _____ F A X _____ Eメール _____
 県連協からの郵便物送付場所 _____
 住所 〒 _____
 電話 _____ F A X _____ Eメール _____